

目次

谷地快一博士略歴・主要業績一覧	i
谷地快一先生	xv
『釈摩訶衍論』の遼代における流通―房山石経の記述と周辺事情―	一
関	悠倫
金工の美と伝統について（そのⅢ）―新たな発見に問いかける―	二五
伊藤	宏見
高田門徒の高田顕智『聞書』の資料的価値―醍醐本『法然上人伝記』をめぐって	五七
板敷	真純
朱熹『易学啓蒙』研究序説（4）―安東省菴の研究―	七三
伊香賀	隆
狂言『花子』における坐禅という仕掛け	九三
原田	香織
『満洲国』時代における西部内蒙古文化教育論考―啓蒙と共生―	一〇九
エルドンバートル	清己
文学的《上総》の光彩―日本文学持ち歩き（七）―	一一九
竹内	清己
東洋大学 東洋学研究所活動報告	一四九
一、研究所の活動概要	一五〇
二、プロジェクト研究報告	一九五
三、研究発表例会・公開講演会	二一五
四、彙報	二一六
執筆者紹介	二一六
〈講演〉『近代艶隠者』の思想的背景	フレデリック・ジラル
吉田	公平
〈講演〉中国文化の贈り物―性善説―	二九七
伝統宗教の「次世代教化システム」―教育界との比較と事例検討―	二八三
川又	俊則
「信仰盲」という分析概念は可能か―8か国調査を踏まえての日本における宗教意識の考察―	二六九
松野	智章
継承制を廃止した仏教寺院における檀徒増加の実態	二五五
―大分・妙瑞寺の非継承墓申込者を対象とした事例研究―	二五五
井上	治代
「御法さま」考―人法一箇と法面人裏―	二四七
西山	茂

今日の台湾における地藏信仰の一側面―『占察経』を中心に―	伊藤	真	235
『死霊解脱物語聞書』研究方法論	愛宕	邦康	213
『サーダナ・マラー』における2種の五護陀羅尼マンダラ	園田	沙弥佳	197
インドにおける『般若心経』注釈文献の研究―ヴィマラミトラ注(一)―	堀内	俊郎	165
世変経成立年代考	菊地	章太	145
『長部註』におけるpanada(放逸)とappanada(不放逸)とについて	越後屋	正行	125
―アルコール依存のような様相に注目して―			
Women Who Spend Their Life with Their Family Deity in Contemporary India: A Case Study of the Rani Sati Worship	相川	愛美	103
前期チャールキヤ朝史の再検討(その3)―3代王マンガレーシャ時代の社会と文化を中心に―	石川	寛	85
グルーナーナクの実践論	橋本	泰元	67
『シヴァ・プラーナ』所収の「ヴィシユヴェーシユヴァラ・マーハートミヤ」―和訳と註解―	宮本	久義	53
紀平正美『行の哲学』における大行―個性と価値、歴史、国家―	大鹿	勝之	37
ペドロ・ゴメス『講義要綱』における人間靈魂の教育	大野	岳史	23
神の宮―東方キリスト教会の言葉観と聖書の当該箇所―	中里	巧	1